

2014年度 早稲田大学 スポーツ科学部 国語解答例

(一)

[出典]先崎彰容『ナショナリズムの復権』

[解答]

問一 イ 問二 ロ 問三 イ 問四 エ 問五 ハ 問六 イ

(二)

[出典]西山哲郎『近代スポーツ文化とはなにか』。問題文中に一部語句の省略がある。

問七 a ハ b ニ 問八 A ホ B イ 問九 ハ 問十 ハ

問十一 ハ 問十二 ニ 問十三 ハ 問十四 イ

(三)

[出典]『太平記』 司馬遷『史記』「越王世家」

問十五 イ 問十六 ニ 問十七 ハ 問十八 ヘ 問十九 ロ

問二十 (1)イ (2)ホ 問二十一 ロ 問二十二 ハ

[講評]

(一)(二)が評論、(三)が古漢融合問題という形式は昨年度と変わらない。また、(二)では昨年度同様にスポーツをテーマとした文章が出題された。

(一)は文章自体は読みやすいが、問三、問四、問六など本文と選択肢の対応がつかみにくい設問が目についた。

(二)は文章自体が難しく、設問も問九、問十二、問十三のように傍線部の内容をしっかり把握した上で、選択肢の吟味が必要な難しい問題が見られた。

(三)は古文の部分も、中国の故事に基づくもので、問二十(1)、問二十一に顕著なように、漢文の故事成語の知識が重視された問題になっている。

2014年度 早稲田大学 スポーツ科学部 英語解答例

I 1. ①-L ②-J ③-H ④-K ⑤-G ⑥-C ⑦-F
⑧-M ⑨-D
2.-A 3.-C 4.-A 5.-B

II 1.-B, E, F, H 2.-B 3.-D 4.-C 5.-C

III (1)-A (2)-B (3)-A (4)-D (5)-C (6)-C (7)-D
(8)-A (9)-D (10)-E

IV 1.-A 2.-C 3.-A 4.-C 5.-B

V 1.-(D) 2.-(C) 3.-(B) 4.-(D) 5.-(C)

※コメント

出題形式、難易度とも例年とほぼ同じである。大問Ⅱで、本文に合致しないものを選択肢から選ばせる問題が冒頭に置かれた。正しいものを選ぶ問題が昨年出題されたので、ケアレスミスをしない注意が必要。